

1) 令和5年度事業の概要

野中正法¹

1. 総合研究所の概要

財団法人海洋博覧会記念公園管理財団(昭和51年7月設立)は、公益法人制度改革により平成24年10月に一般財団法人に移行、団体名も「沖縄美ら島財団」と変更された。

当財団は、経営理念を「美らなる島の輝きを御万人へ」としており、調査研究・技術開発・普及啓発を総合的に進めるため、一般財団以降以前の平成20年12月に総合研究センター(令和5年6月より総合研究所に名称変更)を設置した。

組織は、所長、統括、普及開発課、動物研究室、植物研究室、琉球文化財研究室、美ら島自然学校で構成され、調査研究関連職員34名の体制である。また、3名の財団参与、及び16名の外部研究顧問からのご指導のもと、調査研究、普及事業を展開している。

総合研究所は目標として以下を掲げている。

- ・ 産業振興への寄与
有用な海洋生物の繁殖・育成技術の開発、在来動植物の利用開発や熱帯果樹等有用植物の肥培管理技術の確立、観光資源の情報集積・活用により産業振興に寄与する。
- ・ 環境問題への対応
豊かな自然環境や多様な生態系を維持するため、サンゴ、ウミガメ等の海洋生物やラン類等希少植物の保護・育成、環境緑化等を推進し、生物多様性の保全、地球温暖化等の環境問題に対応する。
- ・ 公園機能の向上
公園利用者ニーズの把握や満足度の向上、効率的・効果的な管理運営に関する調査、病虫害や外来種の防除技術開発等により、魅力ある緑地空間を提供。レクリエーションや環境学習、地域連携などや様々なニーズに対応した公園の機能向上を図る。

2. 調査研究・技術開発事業

動物研究室では、水族館における人工子宮装置の開発を継続、発光サメの発行システムの解明や、大型エイの妊娠プロセスに関する研究も実施した。植物研究室にお

ける在来作物遺伝資源収集の取り組みで、6地域から14種の収集及び栽培技術の開発を実施、県内離島を中心に現状の聞き取り調査を併せて実施した。琉球文化財研究室では、首里城火災により被災した漆器52点、陶器7点の修理が完了した。また外部補助金を活用し、修理技術者の人材育成を実施した。

3. 普及啓発事業

調査研究で得られた成果を、地域学校と財団が連携した学習活動、海洋博公園や美ら島自然学校で実施するプログラムにより一般に普及し、併せて施設利用も促進した。

沖縄県立博物館・美術館等では、夏休み特別企画「さがそう！自由研究のタネ」を継続実施、4種のワークショップを伴って開催した。また、美術工芸品コレクターである桃原昇氏の染織品コレクションの寄託を受け、企画展「沖縄の染と織の至宝―桃原昇コレクション展」を開催した。

外部への講師派遣として、琉球大学の講座、名城大学の公開講座、環境省主催の植物に関する調査体験会、ザトウクジラ会議などを実施、対面または遠隔による講師対応を行った。

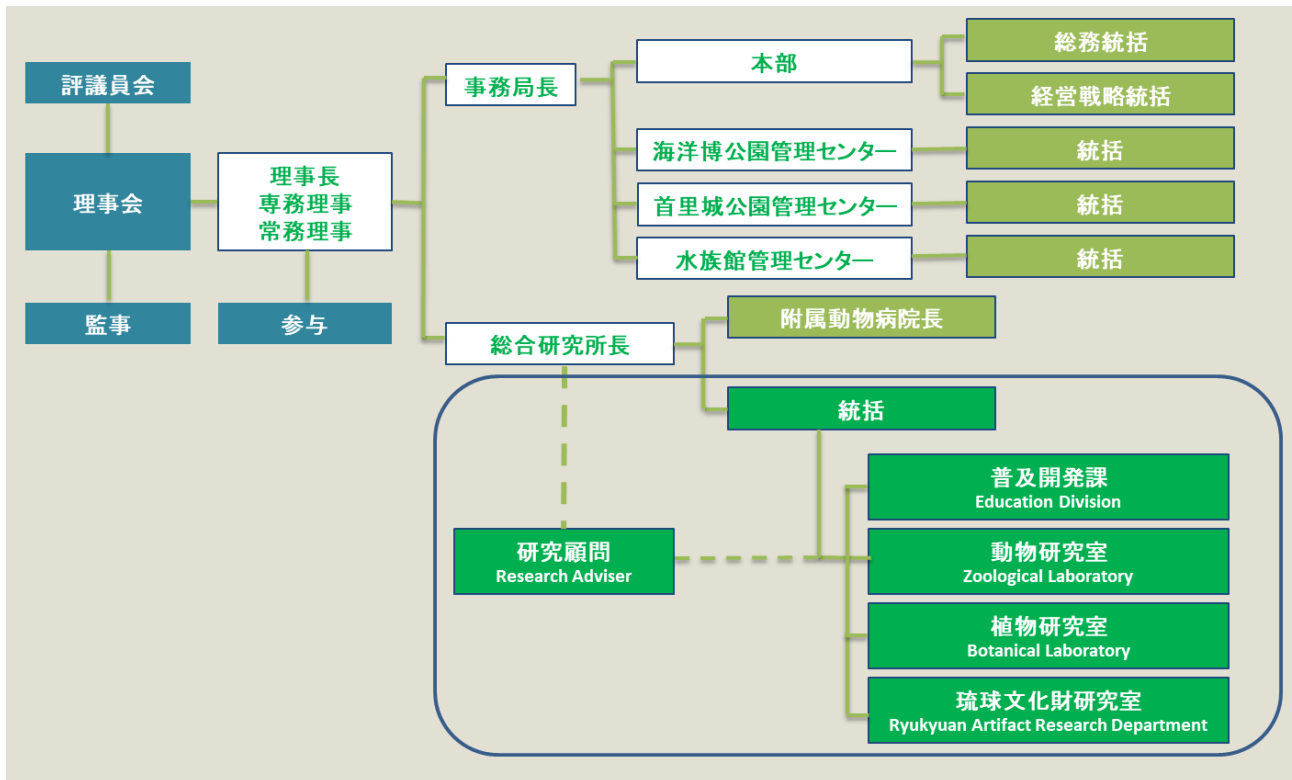
過年度実施した財団を含む県内研究機関が所蔵する染織資料の色材調査の分析結果を整理、「科学の目でみる琉球王国の色とその色材」を刊行した。

4. 外部評価委員会

今年度実施した調査研究及び普及啓発事業について、令和6年3月に課室ごとの外部評価委員会を開催、47件の事業について、財団参与、及び外部研究顧問より評価、助言を頂いた。各課室、多くの成果が出ていることが評価される一方、明らかに人員不足となっている研究事業についての対応が指摘された。各委員の評価及びコメントは、3月18日に各委員会の座長の命を受け、各課室長より理事長へ報告された。

¹総合研究所 統括

5. (一財) 沖縄美ら島財団の組織図



6. 研究顧問（16名）

氏名	所属	役職	専門分野
池田孝之	琉球大学 特定非営利活動法人 沖縄の風景を愛さる会	名誉教授 理事長	都市・地域計画 風景・景観まちづくり
亀崎直樹	岡山理科大学	教授	ウミガメ生態学
後藤 明	南山大学	教授	文化人類学 民族考古学
須藤健一	堺市立博物館 国立民族学博物館	館長 名誉館長	文化人類学 博物館学
グラント・エイブル	National Marine Mammal Foundation シアトル水族館	研究員 館長	鯨類学
仲谷一宏	北海道大学	名誉教授	サメ類分類学 サメ類生態学
上田善弘	ぎふワールド・ローズガーデン 広島県福山市役所	理事 世界ノバラ会議推進プロ ジェクトマネージャー	花卉園芸学 植物育種学 園芸文化論
小山鐵夫	高知県立牧野植物園 B. P. Bishop Museum, Honolulu, U. S. A.	名誉園長、顧問 Associate	資源植物学 植物分類学 植物園学
佐竹元吉	昭和薬科大学薬用植物園薬用植物資源研究室	研究員	生薬学 天然物化学
高江洲賢文	JA おきなわ農業事業本部ファーマーズ推進部	アドバイザー	作物学 雑草生態学
三位正洋	千葉大学	名誉教授	育種学 園芸学 植物細胞工学
安次富順子	安次富順子食文化研究所	所長	琉球王朝の料理 食文化 琉球菓子
喜名盛昭	中国民族音楽研究家		中国民族音楽 御座楽、路次楽
高良倉吉	琉球大学	名誉教授	琉球史 沖縄学
西大八重子	生活文化研究所西大学院	学院長	琉球料理 茶道
宮里正子	沖縄県文化財保護審議会	委員	琉球・東南アジアの 漆芸

7. 各施設の概要

1) 所在地

総合研究所研究棟 沖縄県国頭郡本部町字石川 888 沖縄美ら島財団本部内
 美ら島自然学校 名護市嘉陽 41
 琉球文化財研究室 那覇市首里桃原町 1 丁目 13 番地
 同分室（琉球食文化） 那覇市久茂地 1 丁目 8-8 琉球料理美栄付 琉球食文化研究所内

2) 主な施設・設備等

名称	用途	備考
研究棟	鉄筋コンクリート地上 2 階。動物研究室、植物研究室の事務所、研究室、実験室、標本室等を備える。	地上 2 階 950 m ²
美ら島自然学校	沖縄本島東海岸の調査研究活動拠点、及び一般向け・学校向けの普及啓発事業の拠点として活用。	利用者 10,747 名/年
動物系実験室	DNA 解析、組織切片作成等の機器を備える。	
解剖室	ホイストクレーンを備え、大型動物の解剖にも対応。	
調査用車両	各種フィールド調査に利用。	普通車両 2 台
調査用ドローン	海洋調査、植物分布調査に利用。	陸上用 5 台 水中用 1 台
URM 魚類 標本コレクション	沖縄の魚類研究・教育・展示目的での標本の貸出を実施	約 60,000 点の 魚類標本
植物 標本コレクション	沖縄の植物研究・教育・展示目的での標本の貸出を実施	約 23,000 点の 植物標本
CT 画像診断検査 システム	海洋生物の健康管理に利用されるだけでなく、生物標本や、琉球文化財の非破壊内部調査にも利用。	獣医師および放射線技師が常駐
無菌操作室	無菌環境下で有用植物や希少植物の培養苗作成を実施。	クリーンベンチ 6 台を装備
培養育成室	熱帯果樹（パインアップル等）、ラン類（デンファレ、ファレノプシス等）、観葉植物類（ドラセナ等）の培養株を保持。有用植物の大量増殖、希少種の保全。	約 11,000 株の 培養株
熱帯植物試験圃場	熱帯果樹・花木の試験栽培、都市緑化植物の栽培、野生の絶滅危惧種等の域外保全施設として運用。	約 11,000 株の 栽培株
琉球文化財研究 関連收藏品	県指定有形文化財「白澤之図」、復元漆器「七宝繫密陀絵沈金御供飯」等を収蔵、琉球文化研究・展示に利用。	1,131 点
琉球文化財研究 関連図書	琉球文化、中国文化に関する図書を中心に収集。研究・展示に活用。入手困難な古書も含む。	8,407 冊

8. 総合研究所の研究スタッフ (34名)

役職	氏名	専門分野	資格
参与 (研究)	西平 守孝	動物生態学、サンゴ礁生態学	理学博士
参与 (研究)	中村 将	魚類生殖生理学	水産学博士
参与 (研究)	上地 俊徳	薬理学、農芸化学	農学博士
統括	野中 正法	八放サンゴ類の形態分類学、生態学	博士 (理)
普及開発課 職員4名	課長	徳武 浩司	鯨類学、希少動物の保全
	係長	仲松 由美子	水生動物の教育普及、環境教育
	主任技師	山本 広美	サンゴ礁生態学
	主任	国広 潮里	珍無腸動物の分類学、生態学
動物研究室 職員5名 兼任8名	室長・係長	岡 慎一郎	保全生態学・分子生態学
	上席研究員	佐藤 圭一(兼)	軟骨魚類学
	上席研究員	松本 葉介(兼)	漁業振興
	上席研究員	河津 勲(兼)	ウミガメ類の繁殖および生態学
	上席研究員	植田 啓一(兼)	小型歯鯨類の臨床獣医学
	上席研究員	松本 瑠偉(兼)	軟骨魚類 (サメ・エイ類)
	主任研究員	松崎 章平(兼)	淡水魚類生態学、水生生物飼育
	主任研究員	宮本 圭	魚類学、動物標本の管理
	主任研究員	富田 武照	形態進化学、機能形態学
	主任研究員	小林 希実	鯨類生態学、鯨類音響学
	研究員	岡部 晴菜	鯨類生態学
	研究員	中島 愛理(兼)	繁殖学、水生動物の臨床獣医学
	契約職員	笹井 隆秀(兼)	爬虫類学
植物研究室 職員7名 兼任1名 契約職3名	室長・係長	阿部 篤志	森林生態学
	上席研究員	米倉 浩司	植物分類学、植物地理学
	上席研究員	峯本 幸哉(兼)	蔬菜園芸学
	主任研究員	佐藤 裕之	園芸学、育種学
	主任研究員	天野 正晴	植物分類学
	主任研究員	辻本 悟志	森林保護学、樹病学
	研究員	野原 敏次	農芸化学
	研究員	砂川 春樹	園芸学、作物生理学
	契約職員	松原 智子	果樹園芸学、菌根菌
	契約職員	徳原 憲	植物細胞工学
	契約職員	数馬 恒平	天然物化学、生薬化学、植物化学
琉球文化財 研究室 職員5名 契約職1名	室長	幸喜 淳	民俗学、伝統建造物塗装
	上席研究員	泉 千尋	東洋史
	係長	久場 まゆみ	民俗学、年中行事、祭祀組織
	主任研究員	宮城 奈々	染織史、織物作家
	研究員	佐久本 純	琉球古典音楽
	契約職員	鶴田 大	日本美術史、東洋美術史

9. 外部資金獲得実績

1) 調査研究費

動物研究室

助成元	研究テーマ	代表者
文部科学省 (日本学術振興会)	「サメは光を盗む」説：人工子宮を用いた検証 実験	富田武照
文部科学省 (日本学術振興会)	魚類における部分的内温性の生態的意義解明	渡辺佑基 (分担者：松本瑠偉)
文部科学省 (日本学術振興会)	絶滅危機に瀕する日本産ウミガメ3種のフレン ジの解明と保全に向けた孵卵条件の提示	斉藤知己 (分担者：河津勲)
文部科学省 (日本学術振興会)	甲殻類最強の把持力を持つヤシガニの3D組織 構造と機械的特性	井上忠信 (分担者：岡慎一郎)
中社創智社	環境DNAによる沖縄島の沿岸魚類相の網羅的把 握	岡慎一郎
米国海洋大気庁 (NOAA) (SPALSH-2 運営委員会)	北太平洋全域におけるザトウクジラの国際共同 研究プロジェクト	小林希実 (副代表：岡部晴菜)
Pacific Whale Foundation	ホエールウォッチング、スイムツアー等の観光 産業によるザトウクジラへの影響評価調査	小林希実

植物研究室

助成元	研究テーマ	代表者
文部科学省 (日本学術振興会)	マチン科ホウライカズラ属の環東シナ海地域に おける種分化と花形態の進化に関する研究	内貴章世 (分担者：天野正晴)
文部科学省 (日本学術振興会)	植物標本データベースを活用した沖縄型学習支 援システムの構築	齊藤由紀子 (分担者：天野正晴)
環境省 (生物多様性推進支援事業)	沖縄県内に生育するキバナシュスラン、コウシ ュンシュスラン、ナンバンカモメランの生息域 外保全	天野正晴、佐藤裕之
(公財) 国際花と緑の博覧会記念協会	沖縄の伝統的景観木の新病虫害防除に関する調 査研究	辻本悟志
(公社) 沖縄県緑化推進委員会	ソテツカイガラムシ防除及び調査研究	辻本悟志
(公社) 農林水産・食品産業技術振興協 会	メーオーバ種苗資源の保護についての取組	野原敏次
文部科学省 (日本学術振興会)	マチン科ホウライカズラ属の環東シナ海地域に おける種分化と花形態の進化に関する研究	内貴章世 (分担者：天野正晴)

2) 受託調査事業等

普及開発課

発注元	受託業務名
沖縄県	令和5年度国立自然史博物館誘致推進事業委託業務

植物研究室

発注元	受託業務名
(一財) 自然環境研究センター	令和5年度維管束植物3種の生息域外保全及び野生復帰技術の検討・開発業務
(公社) 日本植物園協会	「令和5年度希少野生植物の生息域外保全検討実施委託業務」のうち「種子保存に関する検討」に関する業務
(株) 沖縄環境保全研究所	「令和5年度希少野生生物保護推進事業委託業務」のうち「令和5年度ナゴラン保護増殖委託業務」
(公社) 日本植物園協会	ワシントン条約に基づき任意放棄された植物の保護育成に係る寄託管理業務
(一財) 沖縄県環境科学センター	「アカギ被害対策検討事業」のうち「薬剤幹注試験調査」
中城村	令和5年度中城村試験圃場栽培指導・研究委託業務

琉球文化財研究室

発注元	受託業務名
沖縄県立博物館・美術館	令和5年度琉球王国文化遺産集積・再興事業実施設計委託業務
株式会社国建	令和5年度首里城復元に向けた委員会運営等業務
株式会社国建	令和5年度首里城復興基金事業制作検討業務
大城織機製作所	令和4年度・5年度「手機機製作」記録作成刊行事業
文化庁	琉球建造物塗装及び古瓦製造伝承者養成事業（補助事業）
沖縄県	令和5年度首里城歴史文化継承基金事業